

ノレンコウモリ

Myotis nattereri (Kuhl)

翼手目
CHIROPTERA
ヒナコウモリ科
Vespertilionidae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 生息地はごく限られており、確認も散発的である。生息が確認されていた洞窟が道路工事で消滅したほか、各地で生息個体数が急減し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 大分市、津久見市、野津町、本匠村、佐伯市、宇目町

分布域 北海道、本州、四国、九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)、佐渡島、対馬、ヨーロッパ西部、ウラル地方、イスラエル、アフリカ北部、アジア東部

生息環境 採餌はおもに森林の中の低層でおこなわれている。営巣環境は石灰洞に限らず、旧防空壕跡、浸蝕洞など。

現 状 大分市南部の洞窟は道路工事で消滅。他の地点でも個体数は、一洞あたり2～3個体、遭遇頻度はしだいに低下している。県内では出産、哺育のための洞窟は確認されていない。情報は極めて局地的、散発的である。

備 考 日本哺乳類学会：希少

ヤマコウモリ

Nyctalus aviator Thomas

翼手目
CHIROPTERA
ヒナコウモリ科
Vespertilionidae

カテゴリー

大分県
環境庁

選定理由 個体数の減少傾向が認められる。近年さらに、生息地の消滅や生息環境の悪化が懸念される。

県内分布 大分市、臼杵市、本匠村、宇目町

分布域 北海道、本州中部以北、九州、対馬、壱岐島、福江島、中国東部、朝鮮半島

生息環境 比較的明るい大木のある森林に生息し、鬱蒼とした森林では観察されていない。繁殖には大木の樹洞を使用する。

現 状 樹齢200年程度以上の自然林での目撃例が多かったが、生息する森林への人為干渉が進み、夜間照明などの影響も広範囲に広がり、個体数が減少する傾向が見受けられる。現在では、特定の神社林などに限って個体数保存地点と認められる状況である。

備 考 日本哺乳類学会：希少

コビナガコウモリ

Miniopterus fuliginosus (Hodgson)

翼手目
CHIROPTERA
ヒナコウモリ科
Vespertilionidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 生息地は限定されていたが、近年いずれの場所でも生息個体数が減少。全く確認できない場所もある。

県内分布 野津町、臼杵市、津久見市、宇目町

分布域 本州、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)、佐渡島、対馬、シベリア東部、朝鮮半島、アフガニスタンからインド、中国

生息環境 洞窟性のコウモリで、キクガシラコウモリなどのように、暗渠には生息せず、大きな洞窟を必要とする。河川や森林周辺が主な採餌場所となる。

現 状 1970年代までは、臼杵市、津久見市、宇目町などで数個体ずつ目撃されていたが、1985年以降、急激に減少。特に、臼杵市の火灯洞などでは全く見られなくなった。その他の生息地でも減少している。